

## <仰ぎ見て救われる>

ヨハネ3：1～15

### 【ニコデモ】

パリサイ人で、サンヘドリン(議会)の議員で社会的地位のある立場の人。  
人目を忍んでイエス様のところへやってきた。  
その理由は・・・？

### ニコデモの第一声

「先生。私たちは、あなたが神のもとから来られた教師であることを知っています。神がともにおられるのでなければ、あなたがなされるこのようなしるしは、だれも行うことができません。」 2節

### イエス様とかみ合わない会話

「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません」

3節

イエス様はニコデモの根本的な問題を見抜いておられた。

イエス様は、人の奥底にある願いや求めをご存じで、求めてやって来た人を導かれるお方。それは、相手に答えを与えるというものではなく、求めや渇きの核心に触れて気づきを与え、その人自身が自分の口で告白できるような導き方。

新しく生れなければ、神の国を見ることはできない？

もう一度、母の胎にはいって生れることなどできるだろうか？

新しく生まれるとは、霊的誕生のことだと示された。

◆モーセが荒野で蛇を挙げた時の事を引用した。民数記21章

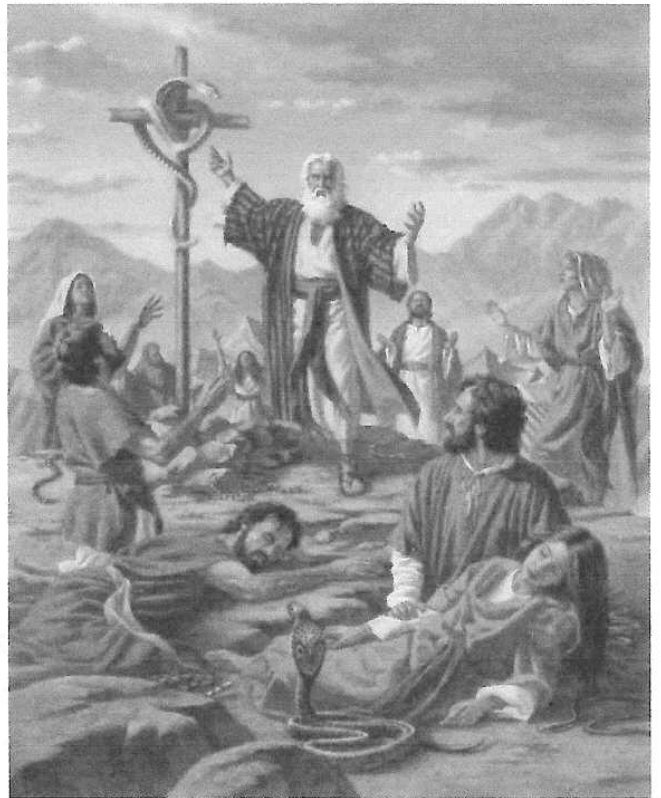
出エジプト後の荒野での旅路で、神への反逆を繰り返した民。

神の裁きがくだったが、その時に民が救い出された唯一の方法とは？



【民数記 21 : 4～9 節】

彼らはホル山から、エドムの地を迂回して、葦の海の道に旅立った。しかし民は、途中でがまんできなくなり、民は神とモーセに逆らって言った。「なぜ、あなたがたは私たちをエジプトから連れ上って、この荒野で死なせようとするのか。パンもなく、水もない。私たちはこのみじめな食物に飽き飽きした。」そこで主は民の中に燃える蛇を送られたので、蛇は民にかみつき、イスラエルの多くの人々が死んだ。民はモーセのところに来て言った。「私たちは主とあなたを非難して罪を犯しました。どうか、蛇を私たちから取り去ってくださるよう、主に祈ってください。」モーセは民のために祈った。すると、主はモーセに仰せられた。「あなたは燃える蛇を作り、それを旗ざおの上につけよ。すべてかまれた者は、それを仰ぎ見れば、生きる。」モーセは一つの青銅の蛇を作り、それを旗ざおの上につけた。もし蛇が人をかんでも、その者が青銅の蛇を仰ぎ見ると、生きた。



死から救い出されるために彼らがすべきことは、  
竿にあげられた青銅の蛇を仰ぎ見ること。

これは、イエスキリストの十字架による救いの予表でもあった。

十字架に上げられたイエス・キリストを仰ぎ見るなら救われる。

その後のニコデモはどうなったのか。新しく生まれたのだろうか？

- ・イエス様を告発するような場で、ニコデモは正当な抗議をしてイエス様を擁護する勇敢な人物として登場する。（ヨハネ 7：20、21）
- ・十字架上のイエス様の遺体を取り降ろし葬るときに、墓を提供したアリマタヤのヨセフに協力し、体に塗る没薬とアロエを持参し葬りの手伝いをしている。

（ヨハネ 19：38～42）